

2020年度の活動計画(概要)

以下の2つの基本方針を推進する！

【基本方針①】

「地デジIPDC推進連絡会(仮称)の設立準備」

既存の地デジ資産の最大有効活用を基本とし、地デジ(2K)波による高度な防災行政無線の実現を図るとともに、V-lowからの引っ越しも実現させる制度設計を働きかける。

➡そのための地デジ局が集う場を2021年度に立ち上げるべく各種の準備活動を行う

【基本方針②】

「IoT放送の確立」

我々が主張してきたIoT放送の実現に向け、2020年度中は実証実験を継続し、その成果を総務省にもインプットしつつ、V-high帯におけるIoT放送の制度化を働きかける。

➡そして、基本方針①②の活動を通して、創立10年を踏まえて、**新しい形の活動体制への脱皮を目指したく。**

2021年度より新組織への脱皮に向けた2テーマでの活動を推進する

2020年4月

2021年4月～

← 2020年度活動 →

地デジIPDC推進連絡会
(仮称)正式設立

地デジを活用した地域インフラ
としてのナローキャストの推進

※参加者順次拡大

活動の
本格化

活動① 設立準備活動

「地デジIPDC推進連絡会」(仮称)の設立検討

- ・2020年度の活動の一環として2021年度以降に設立(予定)の連絡会の活動内容を具体的に検討し、関係各方面との連携を強化していく
- ・ナローキャスト(地デジ)推進、諸課題検災害放送分科会の動きを意識、情報難民ゼロプロジェクトの動きも意識していく

発展的な合流
(IPDC-Fは活動休止へ)

2019年度活動

①地域
プロジェクト支援

②V-high
実験局申請

③放送通信境界
領域の深化

2021年度以降

IPDCフォーラムとしての
問い合わせ窓口は継続

活動② 実証実験の継続

- ・2020年度も引き続きV-high特定実験試験局を活用したIoT放送実験への取り組みを継続

- 2021年3月までに総務省が制度化

試験局を活用したIoT放送
実験の成果を順次総務省へ
報告
➡IoT放送の実現を訴求

関連実験も積極的に推進
● 東京大学(BeaconCast)
● 大阪大学(ATSC3.0対応)
● IEEE802.11WiFiブロードキャスト

(V-high帯における)IoT放送の
具体化を目指す活動を継続

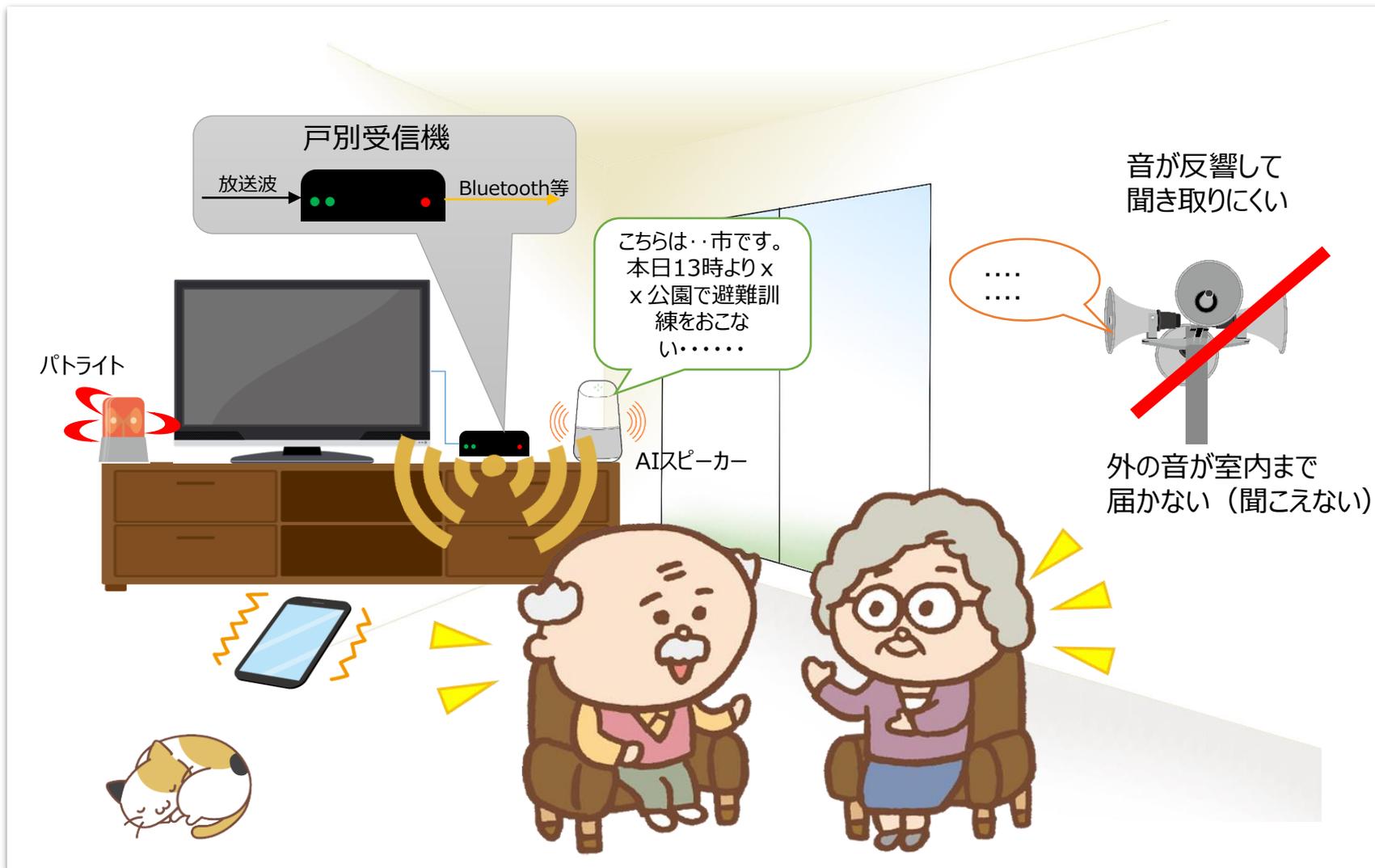
活動の
本格化

※ただし、総務省が2021年3月目途に
V-high帯でのIoT放送の導入を方針化
させることが前提となる

【第一テーマが目指す世界】

地デジを活用して高度な防災行政無線を実現

音声での告知はもちろん、IoTデバイスやスマホへのプッシュも可能に。
地デジ(&ケーブル経由)だから、今直ぐ100%全戸に地域情報を確実に届けます!!



【第二テーマが目指す世界】 V-high帯を活用したIoT放送の実現

放送の同時大多数への一斉同報性という強みを生かして、5Gとの補完的な形で、IoT機器や移動体などへの制御情報の配信など、放送と通信の融合をIoT分野で実現。

